

令和5年度 学校経営方針

1. 学校教育目標

(1) 学校教育目標

学校教育目標
主体的に学び、心豊かにたくましく生きる 「えがおいっぱいの子ども」の育成

【めざす児童像】
あ あったか心やさしいあくのうらっ子
く くふうして自ら学ぶあくのうらっ子
の のびのび元気なあくのうらっ子
う うきうきみんなでチャレンジあくのうらっ子
ら らんらんやる気まんまんあくのうらっ子

【めざす学校像「幸せいっぱい笑顔学校」】

- 主体的に学び、学力向上をめざす笑顔学校
- 豊かでたくましい心と体を育む、チャレンジ笑顔学校
- 学校・家庭・地域が協働し、みんな元気な笑顔学校
- 安心・安全で、信頼を寄せることのできる笑顔学校

【めざす職員像「子どもと共に伸びていく職員」】

- 子どもへ愛情を注ぎ、使命感と誇りをもった教職員
- 子どもの成長を保障する教職員（指導力の向上）
- 同僚、保護者、地域と協働する教職員（人間力の向上）
- 高い倫理観をもち、信頼される教職員（サービスの厳正）

(2) 重点経営方針

- ① 学校や地域の特性を活かした教育を推進し、学校教育目標及びめざす児童像の実現を図る。
- ② 学校を開き、保護者や地域の方に信頼される学校づくりを推進する。
- ③ 職員同士の「対話的な学び」を大切にし、自己の資産・能力の向上を図る。

(3) 具体的な方針

① 主体的に学び、学力向上をめざす笑顔学校

- 学習規律の徹底
 - ・「学習・生活ルールブック」にそえる。
- 授業改善（「長崎県授業改善メソッド」「長崎県読解力育成プラン」等を手掛かりに）
 - ・主体的、対話的に学ぶ授業づくり（ガイド学習等を活用して）
 - ・授業におけるChromebookの効果的な活用
 - ・基礎基本の定着
- 補充学習の充実
 - ・基礎基本の時間の取組改善
 - ・Chromebookの有効活用
- 読書活動の推進（学校図書館司書との連携）
- 家庭との連携
 - ・家庭学習の確立
 - ・家庭でのChromebookの有効活用
 - ・家庭読書の推奨

② 豊かでたくましい心と体を育む、チャレンジ笑顔学校

- 自己肯定感を育む、一人一人を大切にする学校・学級づくり
 - ・「ほめる文化」の醸成（「ほめる」ことこそ何度でも）
 - ・仲間と協働してチャレンジし、達成感をあじわうことのできる場の設定

- 人権尊重教育の重視
 - ・思いやりのある言葉の涵養（丁寧な言葉づかいの指導を強化）
- 積極的な生活指導
 - ・「学習・生活ルールブック」にそえる。
 - ・登下校、廊下歩行、休み時間の過ごし方など、安全指導の徹底
 - ・明るく心のこもった、気持ちのよい挨拶や返事
 - ・靴などの自分が使う物やトイレのスリッパなどのみんなでする物の後始末
- 縦割り活動の重視
 - ・日常の取組の中にも縦割り活動を取り入れ、学級を超えた関わりを多くもたせる。
- 外遊びの推奨
 - ・休み時間は、外で元気に遊ぶ習慣をつける。

③ 学校・家庭・地域が協働し、みんな元気な笑学校

- 保護者との連携
 - ・育友会と連携、協力した学校行事を推進
- 地域との連携
 - ・学校を地域にも開き、地域の教育力をいただき、地域も元気にしていく。
- 幼保小連携の推進
 - ・保育、授業参観の実施 就学前、就学後の情報共有
- 「あはは運動」を通して基本的な生活習慣の定着（あいさつ）
 - ・毎月の生活目標・学校保健委員会の取組

④ 安心・安全で、信頼を寄せることのできる笑学校

- 安心して学べる環境づくり（全職員で全児童の指導）
 - ・いじめ見逃し〇
 - ・情報の共有化（管理職・関係職員）
 - ・その日のことはその日に解決（一報は後ではなく、すぐにといい気持ちで）
- 学校と保護者の情報の共有化
 - ・些細なことであっても、通常と違うことが起きた場合は必ず保護者へ伝える。
- 人権教育の推進を図る。
 - ・いじめが起きないような気配り 違いを認める雰囲気
- 特別支援教育を推進する。
 - ・通常学級に在籍する支援を要する子への支援の在り方

（4）働き方について

- ① チームワークを大切に
 - ・個々の精神的負担を軽減し、達成感をみんなで味わうことのできる働き方を推進する。
- ② 勤務時間超過にならないように
 - ・時間外勤務は、月45時間以内（1日あたり2時間程度で月40時間～42時間）
- ③ 令和6年度を見据えた働き方をイメージして執務にあたる。
 - ・担当している校務分掌の職務内容や行事の内容を見返す。